



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業支援本部副本部長 (兼) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦 (TEL) 03-6711-8121

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	145,572	11.3	17,458	91.5	18,179	43.2	16,189	8.0
2024年3月期第1四半期	130,802	2.2	9,118	△29.8	12,693	△17.8	14,984	68.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 33,957百万円(9.8%) 2024年3月期第1四半期 30,924百万円(26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	58.70	—
2024年3月期第1四半期	52.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	869,500	402,449	44.3	1,397.47
2024年3月期	839,169	375,410	42.8	1,303.21

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 385,438百万円 2024年3月期 359,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	27.00	—	28.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	295,000	8.9	32,000	20.3	33,500	9.1	30,000	0.8	108.77
通期	610,000	9.3	65,000	4.2	67,000	△2.0	58,000	3.9	210.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	276,942,682株	2024年3月期	286,942,682株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	1,130,355株	2024年3月期	11,126,529株
------------	------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	275,813,361株	2024年3月期1Q	285,632,636株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は
監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、景気の緩やかな持ち直しの動きが続いたものの、各国の金融政策の影響、中国経済の低迷、物価上昇、ウクライナ・中東情勢の影響など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

当社グループの主要市場でも需要の回復傾向がみられ、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、徹底したコストダウンなどを実施してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,455億72百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は174億58百万円(同91.5%増)、経常利益は181億79百万円(同43.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は161億89百万円(同8.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物をマテリアル事業セグメントからスマート事業セグメントへ、液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースをスマート事業セグメントからマテリアル事業セグメントへ移管しています。前年同期比較については、前年同期の数値を移管後のセグメントに組み替えて比較しております。

[メディカル・ヘルスケア事業]

ライフサイエンス事業は、キラルカラムや充填剤の販売が減少し、減収となりました。

コスメ・健康食品事業は、インバウンドの増加などにより販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、34億87百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は、ライフサイエンス事業の販売数量の減少などにより、94百万円(同70.2%減)となりました。

[スマート事業]

ファンクショナルプロダクツ事業は、カプロラクトン誘導体の中国市場での需要回復などによる販売数量の増加、エポキシ化合物の電子材料や液晶ディスプレイ向けの需要回復による販売数量の増加により、増収となりました。

アドバンステクノロジー事業は、機能フィルムが前年同期並みとなったものの、半導体材料市場の回復により電子材料向け溶剤、レジスト材料の販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、103億17百万円(前年同期比23.4%増)、営業利益は、販売数量の増加などにより、5億1百万円(同343.4%増)となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)などのモビリティ事業は、日本市場における自動車メーカーの認証不正問題の影響などにより販売数量は前年同期並みとなったものの、為替の影響もあり、増収となりました。

当部門の売上高は、232億94百万円(前年同期比4.0%増)、利益面では、北米拠点の統合効果などにより増益となったものの、北米での生産性向上の取り組みが道半ばであることから、営業損失47百万円(前年同期は営業損失6億51百万円)となりました。

[マテリアル事業]

アセチル事業の酢酸は、主要誘導品の酢酸ビニルや高純度テレフタル酸の需要減少などによる販売数量の減少により、減収となりました。

アセテート・トウは、堅調な需要が継続する中、当第1四半期連結会計期間では顧客の在庫調整の影響などにより販売数量が減少し、減収となりました。

ケミカル事業の酢酸セルロースは、液晶パネル市場が緩やかな回復傾向にある中、液晶ディスプレイ向けの販売が競合素材の伸長により前年同期並みに留まりましたが、アセテート・トウ原料向けなどの販売数量が増加し、増収となりました。

その他のケミカル製品は、中国、韓国の景気減速の影響により1,3-ブチレングリコールの販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

当部門の売上高は、444億95百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は、為替の影響などにより、90億83百万円(同5.1%増)となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチック株式会社の事業は、前年同期に自動車部品の在庫調整の影響を大きく受けていた自動車向けや、電子材料向けの販売数量の増加、為替の影響などにより、増収となりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂、包装フィルム、水溶性高分子などダイセルミライズ株式会社の事業は、海外のOA市場の回復などにより販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、627億10百万円(前年同期比24.6%増)、営業利益は、販売数量の増加などにより、77億17百万円(同951.4%増)となりました。

[その他]

その他部門は、水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業の販売増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、12億67百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は、1億9百万円(前年同期は営業損失33百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、棚卸資産や有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し303億31百万円増加し、8,695億円となりました。

負債は、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比し32億92百万円増加し、4,670億51百万円となりました。

また純資産は、4,024億49百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,854億38百万円となり自己資本比率は44.3%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,183	73,482
受取手形及び売掛金	114,413	112,009
棚卸資産	182,510	186,546
その他	39,426	42,224
貸倒引当金	△52	△96
流動資産合計	409,481	414,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	69,024	76,451
機械装置及び運搬具（純額）	118,249	114,947
土地	36,547	37,077
建設仮勘定	79,871	90,237
その他（純額）	5,257	5,384
有形固定資産合計	308,949	324,098
無形固定資産		
のれん	85	86
その他	10,687	10,694
無形固定資産合計	10,773	10,780
投資その他の資産		
投資有価証券	80,023	88,899
繰延税金資産	2,394	2,657
退職給付に係る資産	13,977	14,009
その他	13,602	14,919
貸倒引当金	△33	△31
投資その他の資産合計	109,964	120,454
固定資産合計	429,688	455,333
資産合計	839,169	869,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,184	59,428
短期借入金	31,758	31,520
短期社債	27,000	22,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	16,291	16,270
未払法人税等	6,378	5,663
修繕引当金	—	1,313
その他	55,191	57,361
流動負債合計	208,804	203,556
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	124,741	131,064
繰延税金負債	23,128	25,308
役員退職慰労引当金	36	37
修繕引当金	1,344	559
環境対策引当金	102	102
退職給付に係る負債	2,710	2,817
資産除去債務	1,198	1,227
その他	11,691	12,376
固定負債合計	254,954	263,494
負債合計	463,758	467,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	0	0
利益剰余金	233,664	228,676
自己株式	△15,895	△1,613
株主資本合計	254,045	263,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,319	48,373
繰延ヘッジ損益	△14	△16
為替換算調整勘定	53,371	65,302
退職給付に係る調整累計額	8,723	8,438
その他の包括利益累計額合計	105,399	122,098
非支配株主持分	15,964	17,011
純資産合計	375,410	402,449
負債純資産合計	839,169	869,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	130,802	145,572
売上原価	97,081	102,038
売上総利益	33,720	43,533
販売費及び一般管理費	24,602	26,074
営業利益	9,118	17,458
営業外収益		
受取利息	285	296
受取配当金	841	566
持分法による投資利益	595	639
為替差益	1,996	764
その他	437	404
営業外収益合計	4,156	2,672
営業外費用		
支払利息	418	398
社債発行費	0	0
和解金	—	1,200
その他	162	353
営業外費用合計	581	1,951
経常利益	12,693	18,179
特別利益		
固定資産処分益	3	13
投資有価証券売却益	7,917	—
関係会社株式売却益	—	3,707
特別利益合計	7,920	3,721
特別損失		
固定資産除却損	175	220
特別損失合計	175	220
税金等調整前四半期純利益	20,438	21,680
法人税、住民税及び事業税	2,948	5,789
法人税等調整額	2,500	△557
法人税等合計	5,449	5,232
四半期純利益	14,989	16,448
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	258
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,984	16,189

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	14,989	16,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,566	5,054
繰延ヘッジ損益	—	△2
為替換算調整勘定	11,195	12,139
退職給付に係る調整額	△115	△281
持分法適用会社に対する持分相当額	288	599
その他の包括利益合計	15,935	17,508
四半期包括利益	30,924	33,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,425	32,888
非支配株主に係る四半期包括利益	499	1,068

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用前と比較して、前連結会計年度の「繰延税金負債」が549百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより「利益剰余金」が549百万円増加しております。なお、1株当たり情報において、前連結会計年度の「1株当たり純資産額」が2円00銭増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,375	8,364	22,394	45,180	50,325	129,640	1,161	130,802	—	130,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,432	—	1,038	53	2,525	3,398	5,923	△5,923	—
計	3,375	9,797	22,394	46,219	50,378	132,165	4,559	136,725	△5,923	130,802
セグメント利益又は損失(△)	315	113	△651	8,639	734	9,151	△33	9,118	—	9,118

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,487	10,317	23,294	44,495	62,710	144,305	1,267	145,572	—	145,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24	—	3,372	58	3,454	3,508	6,962	△6,962	—
計	3,487	10,342	23,294	47,867	62,768	147,759	4,775	152,535	△6,962	145,572
セグメント利益又は損失(△)	94	501	△47	9,083	7,717	17,349	109	17,458	—	17,458

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、従来「マテリアル」に含めていたカプロラクトン誘導体、エポキシ化合物を、「スマート」に変更し、「スマート」に含めていた液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースを、「マテリアル」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	7,434百万円	9,499百万円
のれんの償却額	15百万円	4百万円